

あつま

生涯学習だより

発行 厚真町教育委員会 電話 27-2495

主な記事

- ・町内で無事に入学式・始業式
- ・4月1日付 教職員人事異動
- ・アウトメディア運動、英会話教室
- ・屋外スポーツ施設の利用案内
- ・厚真の地層標本
- ・古民家「杵の内」復元、公開
- ・図書室だより
- ・放課後子ども教室活動紹介

町内で無事に入学式・始業式



新型コロナウイルスの影響を受け、2月27日(木)から臨時休校を続けてきた町内の小中学校。入学式、始業式が挙行できるか不安もありましたが、4月7日(火)に新1年生の入学式が町内の各学校で行われました。今年は、小学校で41(39)人、中学校で31(50)人、厚真高校で34(15)人の計106(104)人の1年生が入学し、大きな希望を胸に抱きながら、学び舎(や)への第一歩を踏み出しました。

今後も児童生徒が安心して学校生活を送れるよう、学校でも感染拡大防止策の徹底に努めてまいります。引き続き、保護者や地域の皆様のご理解とご協力をお願いします。

※()内は昨年度入学者数



厚南中学校新入生誓いの言葉(4月7日)



4月1日付 教職員人事異動



4月1日付けで町内の各小中学校の教職員人事異動があり、2人が退職・16人が転出され、20人が新たに着任されました。なお、転出、転入された教職員は次の方々です。(敬称略)

◀ 転 出

厚真中央小校長	池田 健人 (苫小牧市教育委員会)	上厚真小教諭	坂本小百合 (安平町立遠浅小)
厚南中校長	富田 律子 (退職)	上厚真小教諭	根岸 清人 (恵庭市立恵庭小)
上厚真小教頭	森島 新 (安平町立遠浅小)	上厚真小教諭	鈴木 幸恵 (苫小牧市立勇払小)
厚真中教頭	堀田 裕之 (北海道教育委員会特別支援教育課)	上厚真小養護教諭	野々宮規美代 (むかわ町立鶴川中)
厚真中央小教諭	富岡 保子 (函館市立湯川小)	厚真中教諭	須田由実子 (苫小牧市立ウトナイ中)
厚真中央小教諭	富塚 栄樹 (苫小牧市立明野小)	厚真中教諭	下村 朋矢 (苫小牧市立緑陵中)
厚真中央小教諭	菅原 尚樹 (苫小牧市立緑小)	厚真中養護教諭	西岡 庸子 (厚真町立上厚真小)
厚真中央小教諭	白石 あや (退職)	厚南中教諭	西村 靖 (苫小牧市立開成中)
厚真中央小事務職員	竹内美智子 (苫小牧市立東小)	厚南中教諭	清水あすか (在外教育施設派遣)

▶ 転 入

厚真中央小校長	吉岡ゆかり (苫小牧市立勇払小)	上厚真小教諭	佐々木智美 (白老町立白老小)
厚南中校長	石田 憲一 (苫小牧市立ウトナイ中)	上厚真小教諭	北村 剛也 (白老町立虎杖小)
上厚真小教頭	釜田 英夫 (安平町立遠浅小)	上厚真小教諭	泉 凧紗 (室蘭市立水元小)
厚真中教頭	横田 慎也 (苫小牧市立啓北中)	上厚真小教諭	久井 秀毅 (苫小牧市立緑小)
厚真中央小教諭	吉崎 智弥 (伊達市立長和小)	上厚真小養護教諭	西岡 庸子 (厚真町立厚真中)
厚真中央小教諭	藤井 美緒 (登別市立幌別西小)	厚真中教諭	星 正彦 (再任用)
厚真中央小教諭	石井 浩昭 (苫小牧市沼ノ端小)	厚真中養護教諭	加藤 純子 (むかわ町立穂別中)
厚真中央小教諭	越智 健介 (白老町立白老小)	厚南中教諭	藤原 国彦 (白老町立白老中)
厚真中央小事務職員	中村 容子 (苫小牧市立植苗小)	厚南中教諭	大塚 謙二 (壮瞥町立壮瞥中)
		厚南中教諭	鈴木いく子 (苫小牧市立青翔中)

「アウトメディア運動」3年次が始まります！！

子どもたちのインターネット利用を含めた望ましい生活習慣の定着を目指して、アウトメディア運動3年次がスタートします。この運動では、子どもたちが「自己コントロールの力（自制心）」を身につけ、電子メディアと上手に付き合うことができるようにします。そこで、アウトメディア運動の重点取組として、こども園児、小・中学生を対象に、ノーゲームデーの取組と新たに「メディアコントロールチャレンジ」を実施してまいります。地域、ご家庭の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いします！

アウトメディア運動4つの柱

- 1 アウトメディアを意識した生活をしましょう。
- 2 インターネットに接続する電子メディアは、家族共用で利用しましょう。
- 3 家族で電子メディア利用のルールづくりを進め、保護者の管理のもとで安全に利用しましょう。
- 4 乳幼児の電子メディアの接触を少なくしましょう。

ここが大事なポイント！

年3回だけになりました！

- ノーゲームデーの実施（毎月第1、第3日曜日は電子ゲームやメディアに触れる時間を減らそう）
- ノーゲームデー取組チェックの実施（5月、9月、2月の第3日曜日にチェック表を配布します）
- メディアコントロールチャレンジの実施
（園児、小学生、中学生を対象に6月と11月で自分なりに利用時間をコントロールできているか確かめます）

ケルシー先生と学ぶ

英会話教室受付開始

ケルシー先生による英会話教室（5月～7月期）を下記のとおり開講予定です。新型コロナウイルスの影響で実施できるかは未定ですが、参加受付登録を行います。参加希望者は、事前に下記連絡先まで電話で申し込みをお願いします。

日 程 5月20日～7月15日まで
毎週水曜日（計9回）

場 所 青少年センター2階 研修室

時 間 初めて英会話を始める初心者向け

■17:30～18:30

簡単な英会話ができる方向け

■18:30～19:30

対 象 英会話に興味のある中学生以上の
町民

申込み 教育委員会 社会教育グループ

Tel 27-2495

Let's talk in English together!

3月定例・臨時 教育委員会

◆報告事項◆

英語教育推進委員会について／学力向上推進委員会について／小中一貫教育推進委員会について／第4回中央地区学校運営協議会について／新型コロナウイルス対策としての臨時休校に伴う対応について（他5件）

◆議案◆

厚真町立学校管理規則の一部改正について／厚真町外国青年英語指導助手任用規則の全部改正について／厚真町教育アドバイザー設置規則の一部改正について／厚真町教育委員会事務局の人事について（他4件）

◆その他◆

転入教職員の歓迎式（1件）

★問い合わせ★

学校教育グループ ☎27-2494

屋外スポーツ施設の利用案内

●かしわ公園野球場

利用期間 5月末～10月31日

※例年5月1日から利用開始でしたが、
今年は野球場の土入替工事のため5月
末からの利用開始となります。

利用時間 平日・土曜日 8時45分～21時
日曜日・祝日 8時45分～17時

●かしわ公園テニスコート

利用期間 5月7日～10月31日

利用時間 平日・土曜日 8時45分～21時
日曜日・祝日 8時45分～17時

●上厚真パークゴルフ場

利用期間 5月7日(木)～11月15日

利用時間 日の出～日没

●本郷いこいの森パークゴルフ場

利用期間 5月7日(木)～10月31日

利用時間 日の出～日没

※上厚真パークゴルフ場及び本郷いこいの森パークゴルフ場
については、4月17日～5月6日までの間、不要不急の
町内外の往来を控えるという観点から、町外の方は利用を
お控えください。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

お問い合わせ

教育委員会社会教育グループ

(スポーツセンター内)

☎ 27-3775

青少年センターからのお知らせ

☆☆☆フラネタリウム☆☆☆

現在、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、定期投影は中止しています。再開する際は、改めてホームページなどでお知らせしますので、ご確認ください。

お問い合わせ

教育委員会 社会教育グループ

☎ 27-2495

あつま災害エフエム ぜひ、お聞きください

「厚真こどもひろば特別編」では、平日 11:30～12:00 までの特別番組を行っていました(4月3日で終了。)通常放送では、平日の午前8時、午後6時に天気情報や厚真町役場からのお知らせに関する放送を行っています。ぜひ、聞いてみてくださいね。



厚真の地層標本～火山灰のシマシマ地層～

厚真町の大地は、今から約520万年以上前に海底に堆積した泥や砂でできた岩盤の上にできており、その上に私たちに大地の恵みを与えてくれる、土壌、土が堆積しています。土には岩盤が長い年月をかけて細くなった砂や泥のほか、火山噴火で降り積もった火山灰、木の葉や草が腐ってできた黒土などがあり、それぞれの色や粒の大きさの違いにより縞模様の地層をつくっています。

厚真町はこれらのすべての土が堆積しており、特に火山灰が多い土地として多くの研究者が訪れています。古くは約12万年前の真狩村の尻別岳からの火山灰(厚真降下火山灰4)が上野地区で確認されていますが、多くは約10万年前以降の洞爺火山やクッタラ火山、支笏火山、約9千年前以降から噴火を繰り返してきた樽前山や有珠山、駒ヶ岳などの火山灰です。平成14年以降、厚幌ダム建設などの遺跡発掘調査でもこれらの火山灰がみつき、縄文時代以降の先人たちも火山災害を乗り越え、厚真に住み続けていたことがわかっています。軽舞遺跡調査整理事務所には、崖面から剥ぎ取った約1万5千年前以降の地層の標本が2枚あります。縄文人やその末えいのアイヌ民族の歴史の説明のほか、長い歴史の中で厚真町を襲った火山災害や北海道胆振東部地震の地すべり災害を調べるうえで貴重な資料となっています。



※右2枚は上下1組の地層標本です。

子どもの遊び場（あつまスタードーム）3月中の一部開放

新型コロナウイルスの影響を受けて、3月16日（月）～31日（火）まで厚真町スポーツセンター、あつまスタードームを臨時休館しました。その間、児童生徒の健康保持のため、町内の子どもの遊び場として、あつまスタードームの一部を開放しました。

約2週間の開放でしたが、延べ376名の方が利用し、サッカーやバドミントン、ランニングコース等を利用し、思い切り体を動かし、汗を流していました。町内の学校が臨時休校となり、友達と会ったり、体を動かしたりという当たり前のこ

とができなくなった日々。そんな中、久しぶりに子ども達の素敵な笑顔があふれる時間となりました。



長縄チャレンジ

みんなでサッカー

築100年以上の古民家「杵の内」を復元・公開～道内でも貴重な建築構造～

厚真町における開拓の歴史は明治3年（1870年）に始まり、厚真町内陸部の開拓移住は明治20年代から本格化しました。厚真村史（1956年）の村民名簿によると富山県からの移住者が最も多く記されており、明治35～44年にかけて北海道に移住した方の第一位も富山県からです。

移住者たちは本州の故郷の生活文化を厚真に伝えており、このひとつに富山県^{となみ}砺波地方の特徴的な建築様式「杵の内」^{わくうち}があります。「杵の内」の天井は、2本の柱で支えた太く立派な「牛梁（牛の背のように反った梁）」^{うしはり}を中心にカタカナの「キ」に見える梁組み（ハリマモン）が特徴です。町内には11軒の「杵の内」があり、うち6軒は明治・大正時代に建てられています。しかし、「杵の内」の古民家は、ほとんど残っておらず、厚真町のみならず北海道の開拓の歴史遺産とも言える貴重な文化財です。

北海道胆振東部地震で損壊した軽舞地区の木澤吉廣さんの「杵の内」（大正2年・1913年建築 大工 里見伍佐さん^{よしひろ}（厚真町名誉町民））の寄贈を受け、厚真町役場産業経済課が進める古民家再生事業を活用して、3月上旬に軽舞遺跡調査整理事務所（旧軽舞小学校）に復元されました。テレビや新聞でも取り上げられ、地元の方々のほか苫小牧市や遠く美唄市からも見学者が訪れています。祝祭日を除く月～金曜日の午前9時～午後5時まで公開展示をしていますので、ぜひ、見学にお越しください。（※5月6日までは閉館しています。）



大工さんたちによる
牛梁の組み上げの様子



杵の内の梁組み（ハリマモン）
牛梁を中心にカタカナの「キ」印状に組み上げられる特徴があります。



完成・展示公開している杵の内（旧木澤邸）
幅5m×奥行き4.7m×高さ4m、約14畳の広さで、釘は1本も使われていません。

図書室だより

青少年センター図書室

Tel 27-2495 (平日)

新型コロナウイルス感染拡大防止に対応した図書室の利用について

4月16日(木)新型コロナウイルスに伴う緊急事態宣言が全国に拡大したことから、厚真町青少年センター及び厚南会館での図書室の利用を下記のとおり変更します。お手続きをおかけしますが、利用者の方のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

1 閲覧室(書架が並んでいる部屋)への立ち入り禁止

○青少年センター(厚南会館)ロビーで貸出・返却・図書検索を行う。

(あ) 事前に「厚真町公民館図書室簡易検索ページ」から電話やFAXで申し込む。

(い) ロビーにある検索機から図書を検索して係員に申し込む。

※上記のどちらかの方法で本を借りてください。

2 開館時間の縮小

○月曜日～日曜日まで、午前9時から午後5時までとします。

3 休日開館の休止

○5月6日(水)については、振替休日ですが、休館とします。

4 大型連休期間の開館予定

4月		5月					
29日	30日	1日	2日	3日	4日	5日	6日
水	木	金	土	日	月	火	水
休館	開館	開館	開館	休館	休館	休館	休館

5月のおはなしのびっこは 28日(木)10時から 青少年センター絵本コーナーです。
社会情勢によって休止する場合がありますので、その時はお知らせします。

◆4月は「こどもの読書月間」です◆

毎年4月23日は「こども読書の日」、4月23日から5月12日の20日間は「子どもの読書週間」として全国の図書館を中心に、子どもに本を読む楽しさをあじわってもらえるように取り組んでいます。

今年は外出自粛要請のため自宅で過ごす時間が増えたこともあり、3月の図書室の貸出冊数が2,000冊を越えました。1か月の平均貸出冊数は約1,500冊なので、当図書室としては予想外の出来事でした。

◆主な社会教育施設の状況について◆

施設名	状況	期間
厚真スポーツセンター・スタードーム	休館	4月15日～5月6日
青少年センター(会議室利用)	休館	4月17日～5月6日
青少年センター(図書室)	一部休館	4月17日～5月6日
創作館	休館	4月17日～5月6日
軽舞発掘整理事務所	休館	4月17日～5月6日

☆放課後子ども教室☆

雪が解けたあとの地面に、ひょっこり顔を出すフキノトウ。いつもなら、長い冬が終わり、春の柔らかな日差しに心躍る4月なのですが、今年はどうも霞（もや）が視界をさえぎり、見通しのきかない状態が続いていますね。見えない敵との戦いが続く中で迎えた新年度。厚真町放課後子ども教室は、9年目のスタートです。

新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休校から春休みを経て、再開された学校生活。学校の始業に合わせて、子ども教室の活動も再開となりましたが、学校再開にあたり、文科省や北海道教育委員会から出されているガイドラインに準ずる形での活動となっています。密閉・密集・密接の3つの“密”を避けること。手洗い・うがいで感染予防に努めること。そして、天気の良い日は外で遊ぼう！を合言葉に、森探検や大きなシャボン玉をつくる実験など、積極的に外遊びを楽しむプログラムを実施しました。新4年生は高学年の活動に仲間入り。活動日も変わり、ちょっぴり緊張気味な様子もありましたが、時間が経つにつれ、いつも通りの元気の良さを発揮していました。低学年の活動は、新1年生の参加が5月の連休明けからとなるため、4月は2・3年生だけの参加となっています。しかし、元気の良さは高学年に負けず劣らず。日々、子どもたちの笑顔に明るさをもらっています。

新型コロナウイルスについては、北海道内でも再び感染者が増加しているとの報道もあり、まだまだ予断を許さない状況です。自分の健康を維持し、身の回りの人たちの健康、ひいては命を守るために我慢しなければならないことがたくさんあります。いつも通りに遊べない窮屈さに、子どもたちからにじむ不満の声も受け止めつつ、思う存分やりたいことをさせてあげられない現状がとても心苦しいです。一方、限られた条件の中で、どうすれば自分を楽しませることが出来るのか、課題を解決する思考力・試行力を磨くチャンスでもある、と思っています。幸いにも厚真町の子どもたちの周りには、子どもたちの溢れるパワーを包み込んでくれる自然環境があります。上手にパワーを発散し、不自由を面白さに変える術（すべ）を考えることは、子どもたちの未来を支える生きるチカラになることでしょう。そう信じて、最大限、感染防止に注意を払いながら、子どもたちと向き合っていきたいと考えています。

※4月20日(月)～新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から活動を中止しています。

